

京城日報

刊タ日一 (一八七五併刊夕朝)

露内閣員總て偽名

本名暴露する日全部露系の人物
露内閣員は、本名を暴露する日全部露系の人物である。これは、露内閣員の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露内閣員の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露特使獨戰線に入る

獨逸全權委員任命
露特使は、獨逸全權委員に任命された。これは、露特使の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露特使の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

蒙古王北上

蒙古王は、北上した。これは、蒙古王の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、蒙古王の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

金券授受終了

金券授受は、終了した。これは、金券授受の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、金券授受の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

大倉男一行消息

大倉男一行は、消息が。これは、大倉男一行の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、大倉男一行の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

東京より

東京からの消息。これは、東京からの消息の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、東京からの消息の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

米穀査査状況

米穀査査状況は、。これは、米穀査査状況の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、米穀査査状況の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

北朝鮮の首府羅南

北朝鮮の首府羅南は、。これは、北朝鮮の首府羅南の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、北朝鮮の首府羅南の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

林産處分令

林産處分令は、。これは、林産處分令の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、林産處分令の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

正金々券引換

正金々券引換は、。これは、正金々券引換の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、正金々券引換の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

補助貨緩和

補助貨緩和は、。これは、補助貨緩和の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、補助貨緩和の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

商議評議員當選者

商議評議員當選者は、。これは、商議評議員當選者の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、商議評議員當選者の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

北朝鮮の開港

北朝鮮の開港は、。これは、北朝鮮の開港の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、北朝鮮の開港の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

旅團司令部

旅團司令部は、。これは、旅團司令部の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、旅團司令部の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

小額手形發行局

小額手形發行局は、。これは、小額手形發行局の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、小額手形發行局の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

旅團司令部

旅團司令部は、。これは、旅團司令部の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、旅團司令部の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

小額手形發行局

小額手形發行局は、。これは、小額手形發行局の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、小額手形發行局の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

旅團司令部

旅團司令部は、。これは、旅團司令部の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、旅團司令部の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露西亞

露西亞は、。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露西亞

露西亞は、。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露西亞

露西亞は、。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露西亞

露西亞は、。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露西亞

露西亞は、。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

露西亞

露西亞は、。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。これは、露西亞の名前が、日本の新聞に暴露されたためである。

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅	伊勢崎銘仙
...	...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅や伊勢崎銘仙の甲斐類な洋装裏地の...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

古來忠清

古來忠清の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅	伊勢崎銘仙
...	...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅や伊勢崎銘仙の甲斐類な洋装裏地の...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

古來忠清

古來忠清の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅	伊勢崎銘仙
...	...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅や伊勢崎銘仙の甲斐類な洋装裏地の...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

古來忠清

古來忠清の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅	伊勢崎銘仙
...	...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅や伊勢崎銘仙の甲斐類な洋装裏地の...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

古來忠清

古來忠清の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅	伊勢崎銘仙
...	...

大島餅や伊勢崎銘仙

大島餅や伊勢崎銘仙の甲斐類な洋装裏地の...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

古來忠清

古來忠清の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

忠南皮革

忠南皮革の生産高五十萬斤...

發行所 東京日報社
 電話 東京四五一六番
 印刷 小川三之介

蘇峯生

宗漢老漢
 本年の夏は、大江の水四十四五尺に上り、病租界の如きは、雲をかきけてはらざる可らざる程なりと維持せられたり。今や武江に雲は、爲めに長江一帶の雲種は、
 年賦の奮東となりし。松三郎、三郎、即今は江水落ちて、向に元あり、南京に幸絶あり。南人の責任、亦た大なりとす。所人、
 年賦の奮東となりし。松三郎、三郎、即今は江水落ちて、向に元あり、南京に幸絶あり。南人の責任、亦た大なりとす。所人、
 年賦の奮東となりし。松三郎、三郎、即今は江水落ちて、向に元あり、南京に幸絶あり。南人の責任、亦た大なりとす。所人、

八木三良

漢は十月上旬、大連一騎以來、遼へり。漢口が九省の台と稱して、秀吉學士より日酋兩民族の關係を以て、明にせんと欲し、自ら大學に其子に赴き、泰山に登り、曲阜に於て偶然にあらず。而して今日、假令活貧黨の騷擾あり、其平瀬ひ、白馬寺に、漢代佛教渡來の迹にして偶然にあらず。而して今日、假令活貧黨の騷擾あり、其平瀬龍門に六朝時代佛教興隆の跡地帶也。晉軍王占元の持重して、柵たりし、故に予が單身獨走北江に入るは危陋甚しとぞとて、南下此地に到り此れより動かざるは、或は海が龍の咆を招て陸陳の地に入るは危陋甚しとぞと

も亦た要衝

翻し、涙に遠かり唯だ隨意隨處るを得ざる也。
行止するに比し、其の動意、同
の論にあらす。而して子と、老
との因縁、亦た奇ならずとせす。
月一たび返子觀瀾亭に於て相見
月京城に於て相見、十月大連に
て相見、十一月漢口に於て相見
馬兵先導、即車出迎、轅門に入れ

王督軍

友家の湯川寛吉君一行と與に、
昌に赴き、湖北督軍兼省長王占
元氏の午餐會に列せり。

去れば後進子輩の如きものな
上の安危を有る價值なきは固よ
當然にして、寧ろ斯る地域の難
責を一日も早く境界に紹介する
自己の天職なるが如くに信じ、
山到者の後、約六箇月間を費し
三南京、三黃河、三平內地と遠
三南京、三黃河、三平內地と遠

死して、今昔

千餘一十人の日本人は、今や
 常駐の食の菓食を、
 武人氣質を示し、人に對して極め
 て良好の印象を與ふ。此行露計の
 支那武人と會見したるも、王督軍
 の如きは、其の傑出の一ならむ。
 蓋し彼が自から三連の重鎧を以て
 任じ、長江一帶の平和の權機を握
 つて、輕騎安撫せし、徐るに天
 下大勢の趨勢を待たず、外るに天
 威の機微の間に、看取せらるる
 として三南地方に在り、又高麗

面して三弄、三變、正金、日
 金、藍灣銀行、住友、鈴木
 の大寶、何れも舊に留して、

他人の期待は勿論のこと、自己
 希望と抱負とは其の十分の一をだ
 越するこの能はざりし、然れば
 舊の先史時代に屬する古墳、即
 ち石の類が京畿の西北部に限
 れ、且つ其ものが最古の遺蹟た
 ることを推斷し得たるは實に此行
 在りし、又新羅燐を出す古墳が
 三南地方に在り、又高麗

獨租界に

各境界に分散したるに一任し、
 若しくはは社交欲に至りては、更に驚く可し
 然るを悔ゆるのみ。而して氏の
 其他寺塔、佛像、梵鐘、埃郭、
 文藝の重なる類を見聞せしむ

館、古、竹、山、燕、雨、

○同上 西村 秋湖
評曰不多道破處却見有旨
有翁不語干戈語唯見蒼然暮色來
許曰筆端疊殺氣之起

七
う

大正三年三月五日の風朝、巴田に
中央警察署が正門をあけたばな
の所へ血相變へて馳込んだ婦
あつた。一度は關に居合はせ
綱探偵は直ぐに出てて何か柳
用ですかと尋ねると婦人は早口

きたいのでございますが

「さうしてそれで——」婦人は胸が迫つて見えて一寸言淀んだ。「それで——」

何處どこへ、さる御一所いこへ、
ますわ、酒は思おもひすちよつと

「さういふと、婦人はやうに驚いて、
「あら、何の方のお指圖でございま
すね」と今や署長と何が相談して
ゐる隊長偵頭の役姿を指しながら
念を押した、國栖は物は言はずに
黙いて見せる。婦人は少し黙付
て、它是公園通りの武蔵がで
てゐたが、（へい、貴女探
しして、婦人はそれを見て、一足
歩いた、あの娘がつけ出されたんで、御
用にならないうでございますの
ね、國栖は苦笑して、さあ、先づ
やうな意味では、何で、權今の才
は別段、お疑ひのやうにも見ない
んでしたが、（へい、貴女探

した様子を見せたのも、
うふ、事かも知れませんが、
仰る、婦人は言葉を聴いて

[illegible]

さいますが、私が有つて
私谷と申しまして女中頭でござ

ともよいのでございます。餘り
人々が熱心なので隠栖探偵は心の
豪の月如當の年輩でありながら去

[illegible]

順風
瓦斯
コークス
西崎商會
電話 三二七番
支店用 三四七番
商會用 三二七番
支店用 三四七番
西崎商會
電話 三二七番
支店用 三四七番
商會用 三二七番
支店用 三四七番

[illegible]

酒 蔴 等 優



福岡縣三井郡山川村
醸造元 富安本店
京坂永樂町二丁目
發賣元 富安京坂支店
電話 一〇三九
郵政 口座 四三三九

及滿洲

日本科權獲得支那人の心理……末國 ジェンク
有餘無雨話接續實驗……博學島瀛
○日本秘約の遺蹟 廣瀬上田純元著 國余が米國戰中村檢校
○日米協約の遺蹟 廣瀬上田純元著 國余が米國戰中村檢校
憲法と朝野 安大津清 潮州北支那所屬
支那漫遊片々錄 加邦 年々盛東拓
古跡探險記 招馬鉄風 編輯室
金剛山觀光の記録 一記者 朝鮮の人物
東京社會通信 飛魚漁郎
委を解した頼川子講の親分・天來生
●一人一
●事業消

龍山漢江通六番地

電 話 五二〇振替五一〇

[illegible]

酒 蔴 等 優



福岡縣三井郡山川村
醸造元 富安本店
京坂永樂町二丁目
發賣元 富安京坂支店
電話 一〇三九
郵政 口座 四三三九

[illegible][illegible]

製糖機
製糖機
製糖機
四五五
二〇〇
五〇〇
〇〇〇
一
八〇九
四九二
五五〇
〇〇〇

考
價時の
帝新明東
國高治洋
製製製製
糖糖糖糖
五五五五
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
一
七五四六
五〇〇〇

者間に妥協故有一派は秩序の維持
を見たるも過激派は則する一般野
會の反威致撃は止まざるものなり

●換首相議和態度

●救済局創設

●東清值上如何

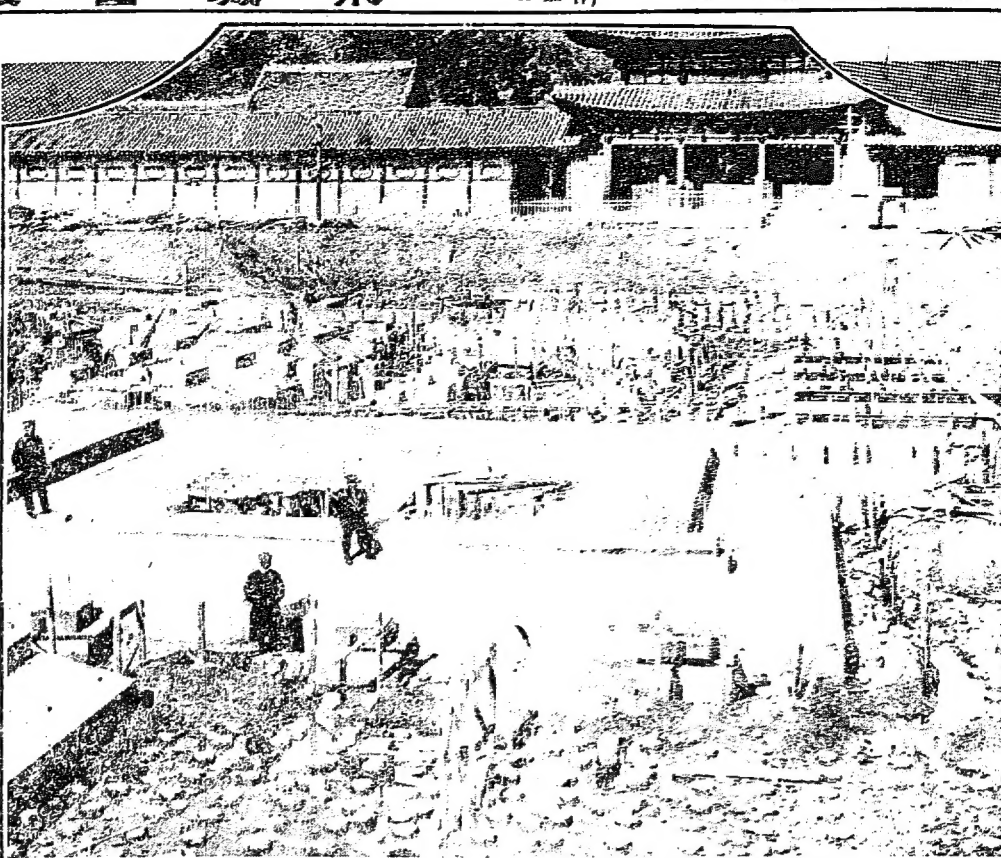
●露國地方情勢

●基礎工事の大半を終った総府新庁舎

●公債買収取締

●家族六人を傷

●初二千餘圓を



●家族六人を傷

●初二千餘圓を

●公債買収取締

●信濃丸と衝突して

●宮内省の荷車

●電撃と衝突し

●三分間で沈没

●爆薬銃器を積

●載せる漁船

●三分間で沈没

●爆薬銃器を積

●載せる漁船

●文展の墨塗駱

●石田君の展覧會を觀て

●石田君の展覧會を觀て

●文展の墨塗駱

●石田君の展覧會を觀て

●文展の墨塗駱

●最新刊

職業 日版職業指導書

職業 日版職業指導書

●大阪屋敷

比較 良の最 法な 撰擇

比較 良の最 法な 撰擇

●瀨戸皮膚科醫院

李王職御用 東亞牧場

李王職御用 東亞牧場

●東京美容院新築落成

日本化粧品株式會社附屬

日本化粧品株式會社附屬

●東京美容院新築落成

日本化粧品株式會社附屬

日本化粧品株式會社附屬

●東京美容院新築落成

日本化粧品株式會社附屬

日本化粧品株式會社附屬

●固形石油乳劑

殺菌 防腐

殺菌 防腐

●朝鮮總發賣元

特約店募集

特約店募集

●朝鮮總發賣元

特約店募集

特約店募集

●朝鮮總發賣元

特約店募集

特約店募集

●朝鮮總發賣元

特約店募集

特約店募集

「立派に死ね、生きて相見る便
なく、死して月の面を見る。」

A black and white illustration of a woman in traditional Japanese attire, possibly a kimono, standing and looking down. She has dark hair tied back. The background shows bamboo stalks and a fence.

[illegible][illegible]

<p>業</p> <p>星印配合肥料、細工用地骨 油工用諸角各種樹皮及膠原料</p>	<p>品</p> <p>化粧用石鹼、工業用、家庭 用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他 油脂類、苛性苛達、洗滌蓬</p>	<p>目</p> <p>京坂兩府第一四番地 朝日石鹼製造所 電話二六三五 東京市芝區東陽町一丁目 電話九七三三 大阪府大阪市東區西船場 電話四〇四〇</p>
<p>醬油味噌界</p> <p>(七川澤日本水田式) ———— キツコリウヲ醬油(は)油 主合式林油特</p>		
		

[illegible][illegible][illegible][illegible]

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ス
 入札保證金金一申出額十分ノ一
 一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

公 告

本店京城本町二丁目電話九七三番
 自前車洋酒各國真貨廉價入商
 價目表
 一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

有競賣申立人

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

開自動車著發時刻

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

大阪商船出帆

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

有競賣申立人

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

三忠義興

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

三忠義興

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

三忠義興

一 最低競賣價額金貳百八拾圓也
 一 右競賣申立人東洋拓殖株式會社
 一 不動產所有者 趙殿安 三郎
 一 不動產所在地 大正六年貳月拾貳日午前拾時トス

瀬の麓、肥石山、庭草庵が睨んでゐる。采女は常事でない氣付いた。命は惜しませぬ、この心の通じぬのが残念でござります。恐れ、泣きに泣きながら云ふは初瀬であつた。采女は袴のやうに立つた。御舞念のほど御振舞申す。併し恒事も時代ぢや、お諦めなされ。諦めては居ります。併し、助左衛門様、わたくしは犬畜生ぢやござりませぬ。ぢや由つて、和御寮の首級を申し受け、清之丞の邸へ持参、彼面へ投げ付けて遣りたく心得る。和御寮も武士の娘でないか、奥方のお側近くお仕へ申した身でなや、意地を通して死ね、戀の爲めに死ぬ、一人は遣らぬ、清之丞も彼から這る。

采女はたゞ迷惑した摩子の中から殺氣が漏れる、初瀬は短刀を取つたらしい。

本町一丁目三越向電話二四七
 齒科診療 野田 田 野
 齒科醫士 野田 田 野

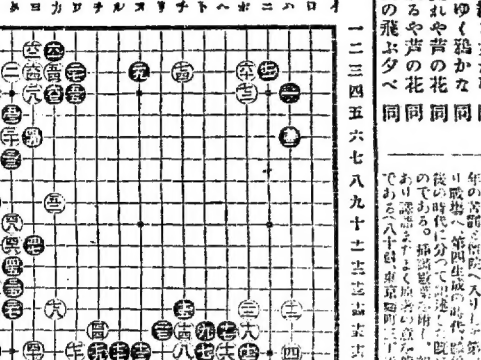
奥方様にも、芳野どのにも、目途ひたう思へど妙ない、わたしの無いので、良きにお傳へなれませぬ。初瀬は覺悟の節であつた。一旦那樣、どうあつても御目害ござりまするか、こゝに要らぬ、一つにござります、これをお聞

(四) 合 手 碁 圍

氏 壽 平 山 三 先 氏 平 道 部 高 五

迄(十八)七十の方より(一十六)二のカ属

ツテレモヨカヲナリスミナトヘガニハロイ



一二三四五六七八九十

越の峰を小が渡る羽音哉 同

御所柿が夕陽に垂く露 同

山茶花の窓に機織る女かな 同

裏庭の柿に暮れゆく鴉かな 同

水鳥の眠る流れや青の花 同

水鳥の羽風に散るや青の花 同

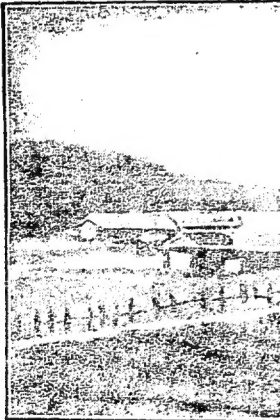
花芦をいかに鴉の飛ぶ夕へ 同




梨亞細亞として疑義
 養毛に適した純
 植物製

パール樟油

王 霸 の
 元 造 釀 贈 味 れ
 (景全 揚工 酒)



支 配 人 西 村 道 彦

資本金 三三、七〇〇、〇〇〇 圓
 積立金 一一、三〇〇、〇〇〇 圓
 諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇 圓

株式 第一 銀行 支店

會社

京城府本町二丁目(振替貯金京城一一番)

[illegible]

下關期米
 一日後換(林買買氣直取)
 令一日新田發倉の北濱株式市場は▲一日後換
 月末に比し郵船株式四十五圓五錢同新株
 株九圓四十錢大株六圓十錢而低客
 三錢より四錢と伸び三錢引新株十